



議員 能勢秋吉 さんむ21

一般行政について

問 市長は就任後、どのような事業を重点的に取り組んだのか伺います。

答 市長 人口減少対策として、子育て、教育分野などにおいて、積極的に事業に取り組んでいます。

問 台風等の災害のソフト面、ハード面の対策について伺います。

答 市長 風水害に特化した災害時職員初動マニュアルの策定を行い、それに基づく訓練を行います。

ハード面では、防災行政無線システム導入や、県が発表する作田川や木戸川の浸水地域に基づき、ハザードマップを更新します。また、避難施設として、重要な役割を持つ施設に、非常用発電機の設置を行うとともに、市内の道路改良等を進めていきます。

問 地方債について、学校、病院建設等の償還年数について伺います。

答 財政課長 国の基準に従い、借入利率や毎年の償還額を含め総合的に判断し、学校、病院の建設は30年、築山は20年償還を予定しています。

問 地方債残高がピークとなる時期およびその額について伺います。

答 財政課長 令和4年度の242億円がピークで、以降は、減少傾向になると推計しています。

問 医学生および看護学生奨学金等基金の利用状況について伺います。

答 財政課長 さんむ医療センターにおいて勤務する医師、看護師および助産師を確保することを目的とし、医学生または看護学生への奨学金等の貸し付けを行う財源です。

答 保健福祉部長 貸し付け制度の利用状況は、医学生が5人、看護学生が88人です。

問 制度利用者のうち、さんむ医療センターでの勤務状況を伺います。

答 保健福祉部長 医学生はまだおりません。看護学生は45人勤務しています。

問 奨学金貸付金制度および利用状況について伺います。

答 教育部長 大学等に入学が決定または在学する方で、経済的理由により就学が困難な方に対し、就学に必要な資金の貸し付けを行うものです。平成24年度の制度開始から、延べ17人

が利用しています。

土木行政について

問 成東259号線(なるとうこども園脇)道路整備の進捗状況について伺います。

答 都市建設部長 工期設定に制約があること、軟弱地盤の対応等から完成は、令和3年度末を見込んでいます。

問 病院建設工事が、令和3年度から着工される予定とのことだが、交通状況を考え、早期に完成すべきだと思いがどうですか。

答 市長 様々な制約があると思っています。早い完成に努めます。

教育行政について

問 成東中学校・成東中学校統合問題を、総合教育会議で検討した結果について伺います。

答 市長 現在、両中学校とも、各学年に複数の学級編成がされているため、しばらくの間、成東中学校を存続し、成東地域の新たなまちづくりの中で、学校のあり方についても検討したいとお願いました。ただ、成東中学校の老朽化については、第1に生徒の安全性を担保すべきと考えています。なお、両校の統合の際は、統合中学校の建設など、まちの発展につながるような展開も考えていきたいと思っています。

人口減少について

問 人口減少対策については、様々な施策を実施していると思うが、現状について伺います。

答 市長 子育て世代の移住・定住につながる施策として、子育て環境の整備や、ICT教育の推進等に取り組んでいます。

問 国は令和元年10月から、3歳以上の園児に対する保育料を無償としたが、人口減少対策として、市独自に0歳児から2歳児の保育料を無料にしてはどうですか。

答 保健福祉部長 仮に、現在の0歳児から2歳児全員を受け入れる場合は、国基準で年間、約2億円、保育士、160人が必要です。施設、設備等も不足するため、現状では難しいと考えます。

問 市では、子育て応援施策とし



議員 萩原善和 さんむ21